



2018年11月13日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表取締役会長 東入来 信博
 (コード番号：6740 東証一部)
 問合せ先 常務執行役員 大島 隆宣
 チーフファイナンシャルオフィサー
 (TEL. 03-6732-8100)

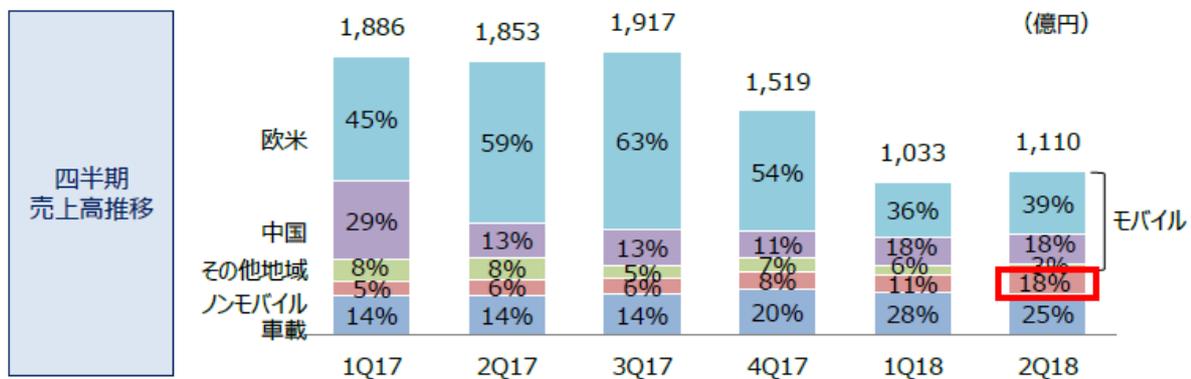
(訂正) 「2018年度 第2四半期決算説明会」の一部訂正に関するお知らせ

2018年11月12日に公表いたしました資料「2018年度 第2四半期決算説明会」につきまして、下記のとおり一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。訂正箇所には赤枠を付して表示しております。2ページ目以降に、訂正後の決算説明会資料を添付しております。

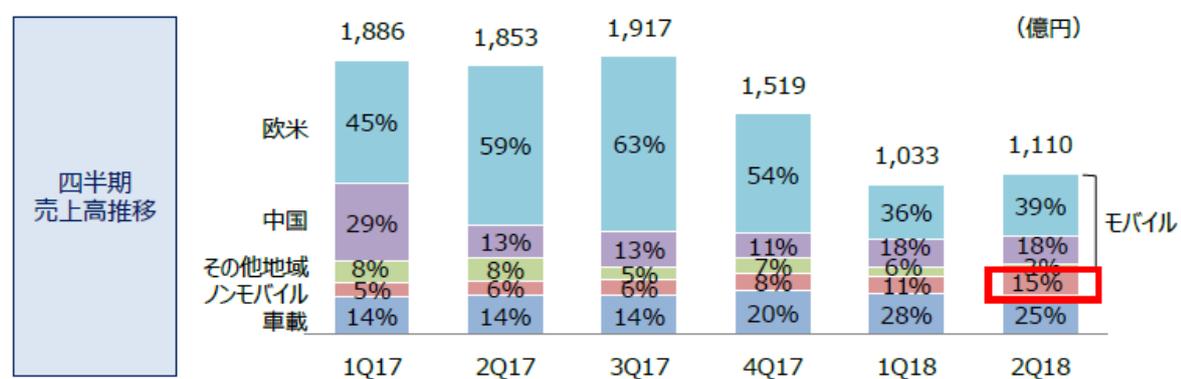
記

(訂正箇所)
 4ページ
 地域・分野別 四半期売上高推移

【訂正前】



【訂正後】



以上



Japan
Display
Inc.
Group

2018年度 第2四半期 決算説明会

2018年11月12日

株式会社 ジャパンディスプレイ

本日の登壇者

代表取締役社長 兼 COO

月崎 義幸

常務執行役員 CFO

大島 隆宣

18年度第2四半期決算のポイント

- 2Q売上高は前四半期比8%増の1,110億円。一部の部品供給の遅れ等により、狭額縁液晶ディスプレイFULL ACTIVE™の本格出荷開始が想定より後ろ倒しとなった
- 2Qは前年同期比で売上高大幅減少も、昨年度実施の構造改革による固定費削減効果により営業損失は縮小。9月単月黒字化を達成

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に 帰属する 当期純利益	減価 償却費	研究 開発費	為替レート (円/US\$)
2Q-FY18	1,110	-47	-63	-78	110	28	110.3
1Q-FY18	1,033	-98	-127	-18	121	41	109.1
2Q-FY17	1,853	-124	-196	-366	228	53	111.0

2Q-FY18 主な営業外収益・費用

営業外収益：為替差益 15億円

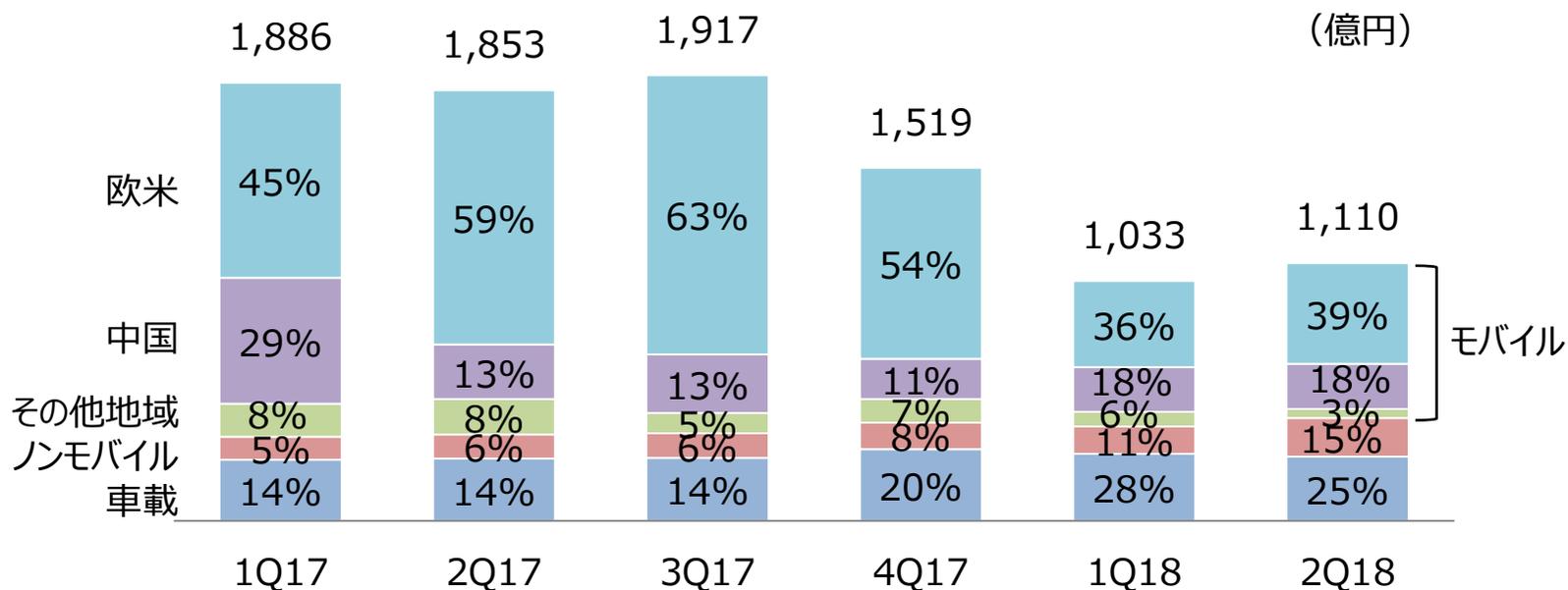
営業外費用：持分法投資損失 19億円

地域・分野別 四半期売上高推移

売上高の
状況

- 2Qはモバイル向けFULL ACTIVE™の出荷増により 1Q比40-50%の売上高増加を見込んでいたが、一部部品供給の遅れによるモジュール生産の遅れにより、見込みを下回った
- モバイル分野の中国・その他地域向けは、顧客のOLED採用や市場競争激化により厳しい状況が継続。ノンモバイル分野はウェアラブル、DSC向け売上高が好調にてQoQ/YoYで増加

四半期
売上高推移



18年度第2四半期 連結業績

(億円)

	Q2-FY18	Q2-FY17	YoY増減		Q1-FY18	QoQ増減	
売上高	1,110	1,853	▲743	-40.1%	1,033	+77	+7.5%
売上原価	1,036	1,832	▲796	-43.4%	1,021	+15	+1.5%
売上総利益	74 6.6%	21	+53	+258.6%	12	+62	+516.0%
販売費及び一般管理費	120	144	▲24	-16.5%	110	+10	+9.4%
営業利益	▲47 -4.2%	▲124	+77	-	▲98	+51	-
営業外損益	▲16	▲72	+56	-	▲29	+13	-
経常利益	▲63 -5.7%	▲196	+132	-	▲127	+64	-
特別損益	0	▲153	+153	-	119	▲119	-
税引前当期純利益	▲63 -5.7%	▲349	+285	-	▲8	▲55	-
法人税等合計	12	12			9		
親会社株主に帰属する当期純利益	▲78 -7.0%	▲366	+288	-	▲18	▲60	-
EBITDA	62 5.6%	81	▲19	-23.2%	20	+42	+206.2%
		4.4%			2.0%		
平均為替レート (円/米ドル)	110.3	111.0			109.1		
期末為替レート (円/米ドル)	113.6	112.7			110.5		

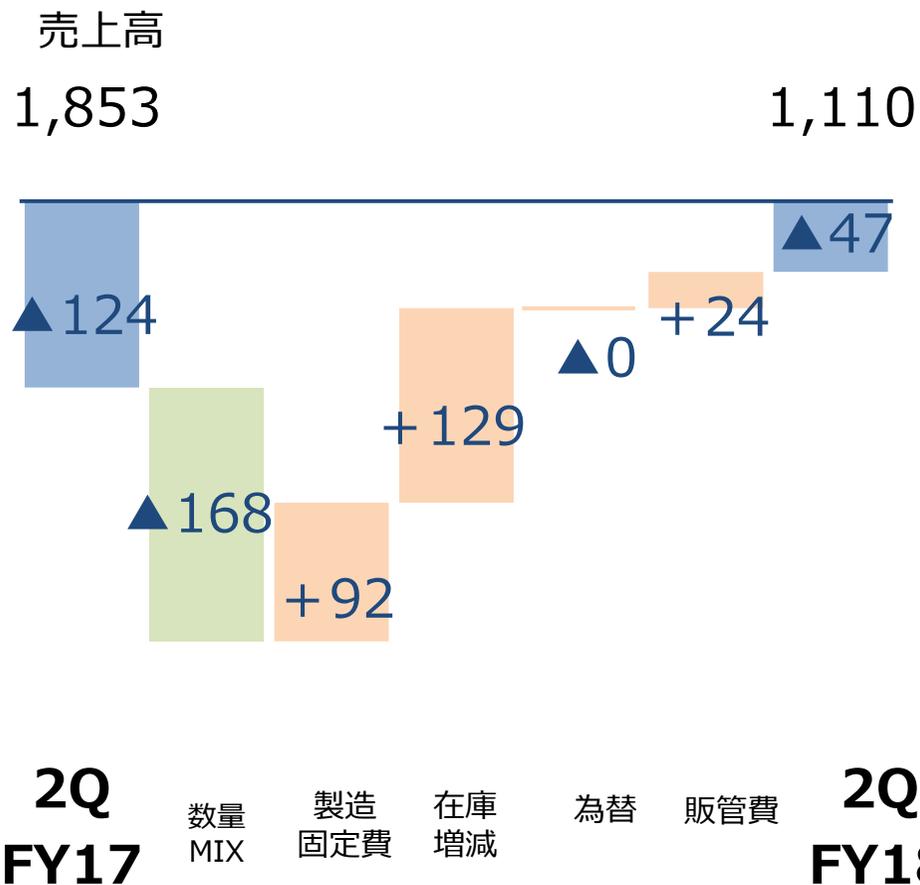
18年度上半期 連結業績

(億円)

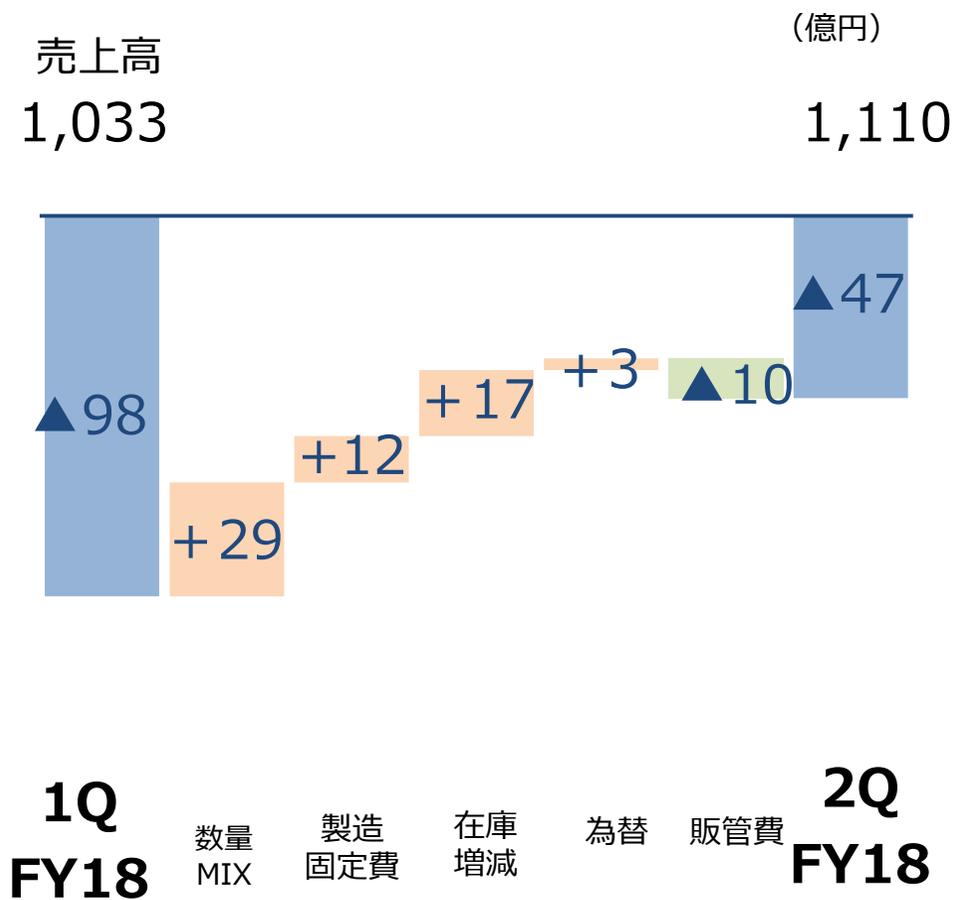
	1H-FY18	1H-FY17	YoY増減	
売上高	2,143	3,739	▲ 1,596	-42.7%
売上原価	2,057	3,708	▲ 1,651	-44.5%
売上総利益	86	31	+ 55	+176.7%
	4.0%	0.8%		
販売費及び一般管理費	230	299	▲ 69	-23.0%
営業利益	▲ 145	▲ 268	+ 123	-
	-6.8%	-7.2%		
営業外損益	▲ 46	▲ 134	+ 88	
経常利益	▲ 190	▲ 402	+ 211	-
	-8.9%	-10.7%		
特別損益	119	▲ 179	+ 299	
税引前当期純利益	▲ 71	▲ 581	+ 510	-
	-3.3%	-15.5%		
法人税等合計	20	91		
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 95	▲ 680	+ 585	-
	-4.4%	-18.2%		
EBITDA	83	162	▲ 80	-49.1%
	3.9%	4.3%		
平均為替レート (円/米ドル)	110.3	111.0		

18年度第2四半期 営業利益増減要因

前年同四半期（2Q-FY17）比



前四半期（1Q-FY18）比



連結貸借対照表

(億円)

	2018年9月	2018年6月	2018年3月	2017年9月
現金及び預金	622	789	809	668
売掛金	809	642	829	998
未収入金	673	376	428	846
在庫	781	692	582	1,059
その他	201	84	61	58
流動資産合計	3,085	2,584	2,708	3,629
固定資産合計	3,399	3,279	3,439	4,781
資産合計	6,484	5,862	6,146	8,411
買掛金	1,497	983	1,178	1,927
有利子負債	1,831	1,759	1,881	1,537
前受金	1,152	1,210	1,283	1,438
その他負債	935	768	984	886
負債合計	5,415	4,720	5,326	5,788
純資産合計	1,068	1,142	820	2,622
自己資本比率	16.2%	19.2%	13.1%	30.8%
ネット有利子負債	1,209	970	1,072	868
商品及び製品	25	20	10	22
仕掛品	28	29	15	23
原材料及び貯蔵品	15	13	8	7
在庫保有日数 (日)	68	61	33	52

在庫保有日数 = 在庫 ÷ 当期売上原価 × 90日

連結キャッシュフロー

■ 決算短信

(前受金を営業CFに含む)

	(億円)	
	Q1-FY18	Q2-FY18
税引前当期純利益	▲ 8	▲ 63
減価償却費	121	110
運転資金	▲ 53	▲ 35
前受金	▲ 73	▲ 57
その他	▲ 239	▲ 13
営業キャッシュフロー	▲ 251	▲ 59
固定資産の取得による支出	▲ 116	▲ 177
その他	113	▲ 12
投資キャッシュフロー	▲ 3	▲ 189
財務キャッシュフロー	229	72
期末現預金残高	789	622
フリーキャッシュフロー	▲ 254	▲ 248

「その他」主要内訳

営業CF (1Q): 未払費用の減少(構造改革費用等) ▲52億円
 持分変動利益 ▲119億円
 投資CF (1Q): 固定資産の売却による収入 +188億円

■ 社内経営管理

(前受金を長期性負債とみなし、財務CFに含む)

	(億円)	
	Q1-FY18	Q2-FY18
税引前当期純利益	▲ 8	▲ 63
減価償却費	121	110
運転資金	▲ 53	▲ 35
その他	▲ 239	▲ 13
営業キャッシュフロー	▲ 179	▲ 1
固定資産の取得による支出	▲ 116	▲ 177
その他	113	▲ 12
投資キャッシュフロー	▲ 3	▲ 189
前受金	▲ 73	▲ 57
その他	229	72
財務キャッシュフロー	156	14
期末現預金残高	789	622
フリーキャッシュフロー	▲ 181	▲ 190

(注) 当社では「前受金」を長期性負債と同質と考え、社内管理上は財務キャッシュフローと位置付けています

2018年度ガイダンス

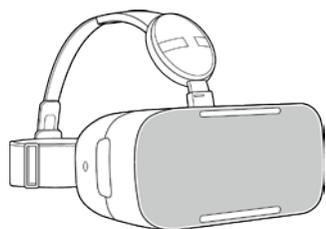
- FULL ACTIVE™は10月から本格出荷を開始。10月の全社売上高は1,000億円超となり、3Q売上高は2Q比大幅増の見込み
- 車載分野の売上高は下期も順調な成長を見込む。ノンモバイル分野では新規ビジネスが拡大
- 今後のモバイル分野の需要の振れ幅を慎重に見極めつつ、対応を検討
- 引き続き通期最終利益黒字化を目指す

(億円)	FY17実績	FY18見通し (8/8)	FY18見通し (11/12)
売上高	7,175	前年度比10-20%増	前年度比5-15%増
営業損益	▲617	営業利益率2-3%	営業利益率1-2%
減価償却費	912	510	480
研究開発費	192	200	200
設備投資額	495	580	520

FY18為替前提：1US\$ = 105円

車載ビジネス以外のノンモバイル新事業が順次拡大

VR専用高精細 ディスプレイ



FY17比で売上6倍に*

- ・VR専用超高精細・高速応答ディスプレイ
- ・650ppi出荷中
- ・800-1000ppi 量産向け製品開発中

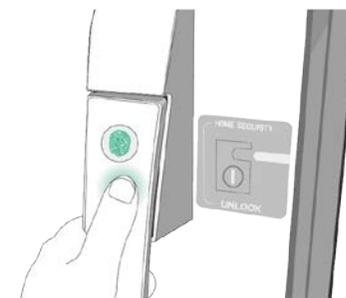
高解像度ノートPC ディスプレイ



FY17比で売上15倍*

- ・フルアクティブライクなディスプレイをPCへ
- ・高解像度をLTPSで低消費電力へ

ガラス指紋センサー



年内量産開始予定

- ・静電容量式ガラス指紋センサーの量産開始を予定

*FY18の予想売上高との比較



将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、スマートフォンその他の電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。